

「第10回ピッチイベント」インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム インフラメンテナンス市区町村長会議 九州・沖縄ブロック

合同開催結果

- ◆令和6年10月9日（水）「インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム」と「インフラメンテナンス 市区町村長会議 九州・沖縄ブロック」は、「広域、複数、多分野のインフラ群の一体的マネジメントへの総力戦」をテーマにした第10回ピッチイベントを初めて合同開催した。
- ◆第1部では、国土交通省総合政策局の岩井聖 公共事業企画調整課企画調整官が「総力戦で取り組むインフラマネジメント～持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて～」、新潟県三条市の大坂市郎 建設部建設課課長補佐が「インフラの包括的民間委託の取組」について講演された。
- ◆第2部の市区町村長会議では、熊本市、日田市、杵築市の事例紹介や、意見交換会では「～群マネや包括的民間委託の導入検討に向けて～」と題し、棕野美智子 日田市長や松本哲治 浦添市長等が登壇し、インフラメンテナンスに関わる各市の取組や課題など、様々な意見交換が行われた。
- ◆第3部のパネルディスカッション「どうする？群マネ ～初めての取組を模索する中での光～」では、九州地方は、人口減少が進み災害も頻発するなか、地域間連携や民間活力の導入が必要。「道路の包括的民間委託の導入状況は、236自治体のうち36自治体が導入済みであり、優良な取組事例を自治体間で共有することで、包括的民間委託や群マネの導入に繋がる」など、今後のインフラメンテナンスのあり方について幅広く議された。

〈日 時〉令和6年10月9日（水） 13:00～17:30

〈会 場〉福岡国際会議場 （メイン会場）411・412会議室
（サブ会場）410会議室

〈会場参加〉164名 〈WEB参加〉314名 合計 478名

※内訳：官公庁120名、Jソサライズ236名、建設会社56名、その他66名

開会挨拶



第2部 市区町村長会議

第3回インフラメンテナンス市区町村長会議九州・沖縄ブロック会議

- (1) 九州各市の取組み発表
並河 洋一：熊本市道路保全課長
高倉 実：日田市土木課長
平田 勝宏：杵築市上下水道課主幹
- (2) 意見交換会
～群マネや包括的民間委託の導入検討に向けて～

ファシリテーター：松村 政秀
(熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授)

パネリスト



第3部パネルディスカッション

『どうする？群マネ』

～初めての取組を模索する中での光～

パネリスト

ファシリテーター：福島 邦治
(一社) ツタワルドボク副会長
(株)日本ピーエス スマートインフラサービス推進室長



第1部 基調講演

